

研究名： 厳格な入院ルールが手術キャンセルに与えた影響

1．研究の目的

新型コロナウイルス感染症の国内流行に伴い、当院では院内感染を防ぐため手術を実施する際に厳格な入院ルールを定めて運用しています。

2020年6月～7月の期間およびその1年前の期間において手術がキャンセルになった理由を調査することで、当院で実施されている入院ルールがどの程度手術のキャンセルに影響を与えたかを明らかにします。また周術期の呼吸器合併症の発生頻度も同時に調査します。

2．研究の方法

研究対象：当センターにて2019年6月～2019年7月まで、また2020年6月～2020年7月の期間に手術を計画された患者様

研究期間：倫理審査委員会承認後～2024年12月

研究方法：当センターにて手術を計画された患者様を対象とし、診療録・麻酔記録から情報を調査します

3．研究に用いる情報の種類

手術の実施状況、キャンセル理由、風邪などの体の状態、予定された手術内容等

患者さんの氏名など、本人を特定出来る一切の個人情報は調査対象ではなく、**個人情報は保守**されます。

4．情報の公表

学会発表または論文報告を予定しております。

5．研究実施機関

国立成育医療研究センター

6．お問合せ先

本研究に関するご質問等がありましたら下記の連絡先までお問い合わせ下さい。ご希望があれば、他の研究対象者の個人情報及び知的財産の保護に支障がない範囲内で、研究計画書及び関連資料を閲覧することが出来ますのでお申出下さい。

また、情報が当該研究に用いられることについて患者さんもしくは患者さんの代理人の方にご了承いただけない場合には研究対象としませんので、2021年8月28日までに下記の連絡先までお申出ください。その場合でも患者さんに不利益が生じることはありません。

照会先および研究への利用を拒否する場合の連絡先：

国立成育医療研究センター 麻酔科 古田真知子

住所：〒157-8535 東京都世田谷区大蔵 2-10-1

電話：03-3416-0181（内線 7559）

研究責任者：

国立成育医療研究センター 麻酔科 古田真知子